



ため池用
ゴビマットTM 遮水型

◆ブロックの形状に合わせて、4タイプをラインナップ

標準型遮水型 (t=10cm, 140kg/m²)



平型遮水型 (t=5.5cm, 105kg/m²)



軽量型遮水型 (t=5.5cm, 80kg/m²)



階段型遮水型 (t=12.5cm, 165kg/m²)



開口率は、ブロックを上面から見た場合の面積当たりの目地部の割合です。



三菱ケミカルインフラテック株式会社

土木・防水補強部 土木資材グループ・インフラ資材グループ

本社 〒100-8251 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル
TEL. 03-6629-1284 FAX. 03-6685-4662

関西支店 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル
TEL. 06-6204-9472 FAX. 06-6204-8685

北海道支店 〒060-0807 北海道札幌市北区北七条西四丁目3番1号 新北海道ビル
TEL. 011-746-6195 FAX. 011-746-7427

東北支店 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町一丁目2番20号 KDX仙台ビル
TEL. 022-261-2315 FAX. 022-224-0601

三菱ケミカルインフラテックの土木資材HP <https://mchem-infratec.co.jp>
製品専用ホームページアドレス <https://mchem-infratec.com/doboku/>

⚠ 注意

本カタログに記載する製品の性能数値等は、測定値であり保証値ではありません。また、記載使用条件を外れて使用され物的・人的損害が発生しても、当社はその責任を負いかねます。ご不明な点についてはお気軽にお問い合わせください。

- 本カタログ記載の内容については、予告なく変更する場合があります。
- ゴビマットは三菱ケミカルインフラテックの登録商標です。
- 色調については、印刷の特性上現物と異なる場合があります。
- 本カタログから無断転載を禁じます。

文書NO.0000140071
2024年11月25日(MCIT)

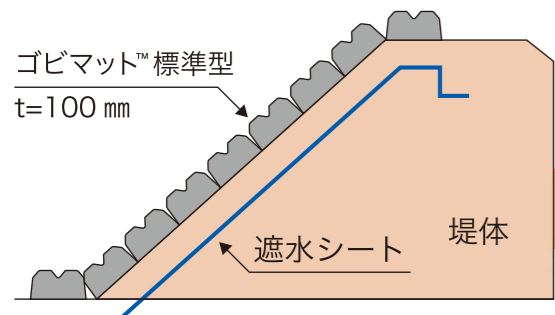


ため池の改修に表面遮水壁工の代わりとして、ゴビマット™ は大きな効果を発揮します。

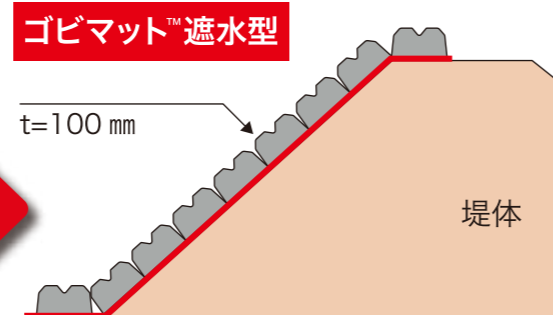
ゴビマット™ 遮水型活用の効果

遮水シート工が不要となり、施工日数が52%短縮可能です。

従来：遮水シート工 + 覆土 + ゴビマット™工

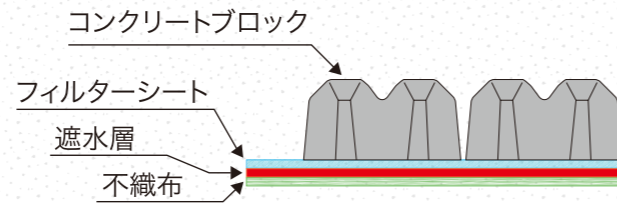


新技術：ゴビマット™ 遮水型工



ゴビマット™ 遮水型の構造

フィルターシートと遮水層が一体化した構造



ゴビマット™ 遮水型はフィルターシートと遮水層が一体化しており、その性能はため池に使用される遮水シートの要求性能を全て満たしているため、表面遮水壁工として使用することができます。

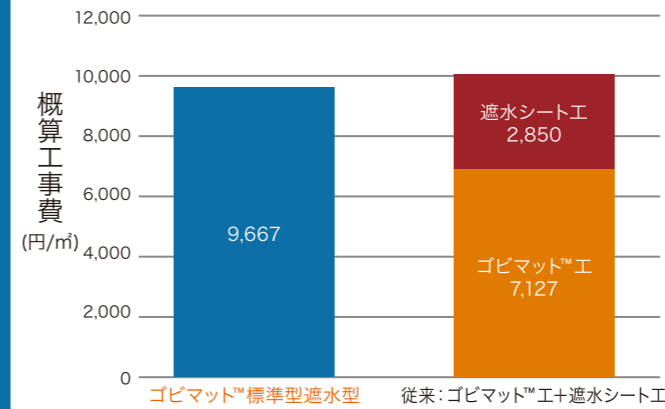
要求性能	規格値・条件	ゴビマット™ 遮水型
安定性	水圧・波圧に耐えること。 自重による引張りに耐えること。 温度変化によって柔軟性を保つこと。柔軟温度-30℃以下追従性を有すること。	耐圧強度：18N/m㎡以上 引張強度：1.96kN/5cm以上 柔軟性：-32℃(JIS K6773) 追従性有(実績により確認)
耐久性	紫外線やオゾン等の老化現象に対して耐久性を有すること。	24年経過後の引張強度は規格値の90%以上
水密性	十分な不透水性を有すること(接続部も同等の不透水性が必要) 透水係数：1.0×10 ⁻⁵ cm/sec以下	1.141×10 ⁻⁹ cm/sec *
経済性	他の遮水工法と同等以上の経済性を有すること。	経済性同等
施工性	簡易かつ迅速に施工できること。	日当り施工量：275㎡/日 (製品長さ6m)
その他	貯水を変質させるものでないこと。 維持・補修が容易なこと。	変質無(溶出試験により確認) 容易(実績により確認)

*遮水型のシートの透水係数(JIS Z0208 条件B 透湿度より換算)、重ね合わせ部は、5.72×10⁻⁶ cm/s⁶

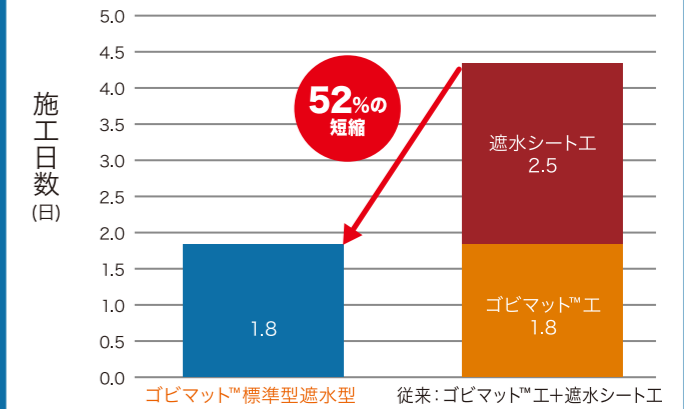
耐圧強度は、JIS A1108、引張強度は、JIS L1096により測定

概算工事費比較

概算工事費は、材料費と工事費の合算



施工日数比較(施工面積500㎡当り)



◎見積条件

- ・施工歩掛は、農林水産省土地改良工事積算基準(令和2年度)ブロックマット工、合成ゴムシート布設工を使用
- ・労務単価は、公共工事設計労務単価(令和2年3月より)岡山県を使用
- ・ゴビマット™は標準型(t10cm)、遮水シートはポリエチレンシート(t1.5mm)

ゴビマット™ 遮水型の特長

- 施工性に優れており、工期の短縮、施工の合理化が可能。
- 「ため池」の耐震化補修工事の比較工法の1つとして評価され平成27年2月に農林水産省農林振興局より発行された、『土地改良事業設計指針「ため池整備」(案)』に法面保護工として新たに記載されました。
- 「ため池」の改修や部分的な漏水対策に適しております。
- 表面遮水壁の構築が簡単で、堤体の掘削や盛土の土工事が減少できます。

